



学校だより

# 中山小

中山小学校は創立129年目を迎えました

学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます

”夢をかたちにこころひとつに中山魂”

## 横浜市立中山小学校

令和3年 5月27日 発行

### 6月号

## 知的好奇心

副校長 草野 健太

先日、次のような数値を目にしました。

「363, 636」 「36, 363」 「399, 999」

小さなタネや苗が大きく育ち、やがて花が咲いたり実を結んだりします。

パッと見た瞬間、3の倍数が規則的に並んだり、9が繰り返されたりする数の並びに興味をもちました。そして、自分の中で、「え？ 本当に？」 「一体、どうしてこんなことになるのだろう？」と、知的好奇心のスイッチが入りました。



算数・数学が得意な方や経理を仕事になさっている方は、数値を見ただけでピンとくるかもしれませんが、実は、数値は金額です。 $363636 \times 0.1 = 36363$ （端数は切り捨て）  $363636 + 36363 = 399999$  すなわち、税抜価格「¥363, 636」の消費税10%が「¥36, 363」で、税込み価格「¥399, 999」となります。

さらに調べてみると、消費税の計算に関して、端数の処理の仕方は事業者が決めてよいことが分かってきました。端数を切り上げで処理する事業者の場合、消費税は「¥36, 364」となり、今度は税込み「¥400, 000」となります。9が5つ並ぶ「¥399, 999」も奇跡的ですが、0が5つ並んで「40万ぴったり」も、何だか気持ち良ささえ感じます。

私はかねてから、算数・数学を苦手としてきました。今でも計算は苦手です。しかしながら、上述したような事例であれば、自ら興味をもって調べたり、考えたりすることができました。「なるほど、そういうことか」と、数値のからくりが分かってもお、「端数を切り上げで処理したら、どうなるのかな？」と、発展的に考えることもできました。この事例と同様に、子どもたちもひとたび知的好奇心を刺激されれば、学びへと向かっていくことができると信じています。したがって、我々教職員は、子どもの知的好奇心を刺激できるような話題を絶えず探したり、授業展開の工夫を考えたりします。つまり、子どもの好奇心に火をつける「しかけづくり（タネまき）」に尽力するのです。

中山小学校は、子どもたちが真剣に目を輝かせ、主体的・協働的に学習に取り組めるような授業を目指し、日々チャレンジしています。教職員一丸となって、授業の質の向上に向けた取組を進め、子どもたちの知的好奇心に火をつけられるようにしていきます。今後とも、保護者や地域の皆様の御理解・御協力をお願いします。